

## Ⅱ 編集後記Ⅱ

春は卒業生を送り出すと同時にルーキーを迎えるための準備期間でもあります。近年、経済状況の先行き不安感が拭えず、受験動向として就職に直結しない人文系が忌避される傾向があるとも聞きますが、歴史学もその潮流と無縁ではありません。その中で、歴史を学び、また、これから学ぼうと志す本学会の若き会員たちにとって幸多からんことを祈念せずにはいられません。

ここに『史観』第一六二冊をお届けいたします。本冊には日本史二本、東洋史・西洋史各一本、考古学二本の論文を掲載しました。ご覧ください。さらに、この三月に定年を迎えられる日本史の安在邦夫先生、深谷克己先生、考古学の菊池徹夫先生の年譜・主要著作目録を加えさせていただきました。三先生におかれましては、長きにわたって本学会を支えてきてくださいましたが、今年度の史学会大会では、三先生に一同にお集まりいただきました。個を超えた学の伝統とその継承ということを改めて考えさせられる機会となりました。三先生のこれまでのご尽力に対し、深謝いたします。

最後に本冊の編集を担当してくださった考古学専修／コース助教の宮里修さんに御礼申し上げます。

(寺崎秀一郎)

### 執筆者紹介(掲載順)

田中 奈保	早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程
早田 旅人	平塚市博物館学芸員
谷口 建速	早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程 日本学術振興会特別研究員(DC)
時野谷 亮	早稲田大学文学学術院非常勤講師
高橋龍三郎	早稲田大学文学学術院教授
井出 浩正	長和町教育委員会
中門 亮太	早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程
宮里 修	早稲田大学文学学術院助教

平成二十二年三月十九日印刷  
平成二十二年三月二十五日発行

史観

第百六十二冊  
定価 一千円

編集者 岡内三眞

印刷所 株式会社 白峰社  
発行所 早稲田大学史学会

東京都新宿区戸山一―二四―一  
電話東京(三三〇三)四一四二番  
振替〇〇一九〇―八一―四六二九